

光が丘だより



光が丘学園の近況です

施設長 野沢 修一

光が丘学園の在園児童数は、11月1日現在で22名となっています。今年の3月に就職による自立や保護者の元に戻った子ども達数名が退園してからは、4月以降新しく入園された子どもが少ないこともあり、子ども達の生活行動は比較的落ち着いている印象です。学園は、色々な個性を持つ子ども達が長い期間一緒に生活することで、お互いの個性がぶつかり合ったり、理解し合ったりを繰り返しながら、徐々に折り合いの付け方を学んでいくものと思いますが、そういう意味では今年度、子ども達の顔ぶれがあまり変わらないことが今の落ち着いた雰囲気につながっているかと思えます。

ただし、学園の子ども達は性格がデリケートな子が多いので、一人の新たな子どもの入園で、これまでの雰囲気ががらりと変わることもあります。

このため学園としては、新しい子どもが入園しても、子ども達と職員がこれまで築いてきた生活習慣を継続していけるよう、この落ち着いている状況において、しっかり職員が子ども達の課題や不安と向き合いながら、子どもと職員の信頼関係をさらに深める好機と捉え、その意識の下、日々の支援に取り組んでいきたいと考えています。

秋がいよいよ深く冬もすぐそこまでやってきているようです。今年もハクチョウ達が越冬のために渡ってきました。空を飛ぶ姿が見られ飛行機のようなダイナミックの飛翔姿にはいつも圧倒され仲間と連なって声をかけ合いながら飛ぶ姿にあたたかさを感じます。

10月には、滝川市と岩見沢市に於いて未委託里親等トレーニング研修の一環としての研修会を行いました。藤女子大学人間生活学部保育科教授 小山和利先生の「愛着障がいと言われる子どもの理解と里親をキーパーソンとした地域の子育て」の研修会には、多数の里親や支援関係機関の方々が参加してくださいました。

講演の中で、発達障がい特性のある子どもの生きづらさを他者に理解してもらえないことや、自分の気持ちを他者にうまく伝えられず誤解を生んでしまう事などを、動画なども使ってわかりやすく教えてくださいました。

また、里親の体験談の動画(『輝きのひととき』が子どもたちの未来に！～養育里親ってなに？YouTube)もメッセージがたくさん詰まっており、それぞれの里親の子どもに対する思いも伝わってきました。〈子どもにあなたは大切な存在であること〉〈いつも味方であることを子どもに伝えることの大切さ〉〈里親として大切なことは先輩里親や里親支援関係者に相談をして一人で抱え込まないこと〉〈どのような社会資源があるのかについて知ることの重要性〉などについて知識を身につけることができる研修会でした。

未委託里親トレーニング事業事務補助員 村中 涼子

「雪虫が飛び始めたなあ」と思っているうちに中山峠では初雪が「ドカン」と降り、「いつの間にか迎えた秋から、当然のように向かう北国の冬」へと季節は歩みを進めているようです。朝晩はすっかり寒くなり、夕暮れ時から凜とした空気が漂う夜へもあつという間に表情を変えるほどです。

9月半ばから10月頭にかけて、またもや「新型コロナウイルス」に前途を阻まれる形となりましたが、それでも形を変えて相談業務を続けることができました。10月は北海道児童家庭支援センター研究協議会代表者会議(5日)、ヤングケアラー研修会(石狩・後志、16日)、北海道社会福祉フォーラム2022(22日)、全国児童家庭支援センター研究協議会熊本大会(26日～27日)はリモートを中心に「学びの場」を確保し、家庭訪問や親子ひろば(ふれあい、しぶん、きたむら)は現場と調整をさせていただきながら実施(参加)することができました。

当初は11月に予定していた「空知ヤングケアラー研修会」ですが、準備すべき期間に身動きが取れなかったこともあり(センター一封印)、講師の方と微調整をすることにより12月13日(火)に開催する運びとなりました。道内8カ所で研修会が行なわれますが、今回は行政担当者及び教育関係者を対象にしたものとなる予定です。

11月は空知ヤングケアラー研修会の準備、親子ひろばへの参加(日程変更箇所も含む)、栗山町家庭教育講演会(17日、パネリストとして参加)、そして、通常の相談業務・SSの受け入れ等、わかっているだけでもこれだけあります。しかし、「こんなにある」ではなく「これだけできる」と前向きに取り組んでいくのが、今できることだと感じています。

光が丘子ども家庭支援センター 主任相談員 浅沼 寿実

JA空知女性協議会

出前教室 お米のできるまで

粒ぞろいの稲を実際に手にして、脱穀、もみ殻、白米になるまで、牛乳パックやすりこぎ等、身近な道具を使って精米する体験をしました。

どの子も、もみがらだらけになって大胆に体感ができたので、会のお開きの時間には「まだやりた〜い」と惜しむ声が多くあがりました。

そして、丹精込めて作っていただいた美唄産の新米を使い、昼ごはんのメニューはおむすびが出てきたので、なんだが、自分たちで作った気持ちになるくらい、お米のおいしさを感じる食卓となりました。

それぞれの子ども達の興味に合わせ、丁寧に教えていただいたおかげで良い一日になりました。ありがとうございました。



スポーツ大会



スポーツの日ということで、子どもも大人も自分の限界にチャレンジしました。かけっこやなわとびなど、競技を何度もやり、自分の記録を更新するのをとても喜んでいました。最後には長縄跳びをして、みんなで20回跳ぶことができました。とてもいい汗をかき、子ども達も清々しい表情でした。



11月の行事予定

- 3日 光陵中学校 学校祭
- 4日 光陵中学校 振替休日
- 11日 新篠津高等養護学校 学校祭
- 14日 新篠津高等養護学校 振替休日
- 18日 光陵中学校 後期中間テスト
- 19日 里親サロン
- 23日 外食行事
- 26日 駒沢幼稚園 生活発表会
- 28日 駒沢幼稚園 振替休日

お誕生日おめでとう

Hくんお誕生会

本来であれば9月に行う予定でしたが、感染症拡大の影響により10月の開催となりました。テイクアウトを活用し園内で気の許す仲間たちとの誕生会。好きなメニューしかない食卓に自然と明るい雰囲気が出来上がり終始楽しい誕生会になりました。



Rくんお誕生会

まだ誕生日というものが分かっていない R君ですが、「お誕生日」「3歳」という言葉に喜ぶ姿もありました。当日は大好きなフルーツをたくさん使ってフルーツポンチを作りお祝いすると、ぶどうばかりを選ぶ R君です。自分で選んだ音の鳴る鉄砲やスマホ型のおもちゃは、自分で選んだ嬉しい気持ちが強く、お気に入りのおもちゃとなりました。みんなにお祝いされて誕生日の雰囲気を楽しめた3歳のお誕生日でした。



10月30日(日)にハロウィンパーティーを行いました。5グループに分かれ、各グループテーマを決め思い思いの仮装をして飾りの前でポーズをきめ写真を撮りました。自分で手作りの衣装や小物は特別感もあり、テンションも上がりワイワイと楽しいパーティーとなりました。お菓子もたくさんもらい、大喜びでした。



ご厚志ご寄贈など感謝申し上げます(10月1日～31日)
(ご芳名もれをお許しください)

JA空知女性協議会様、空知南組唯専寺様、光明寺様、
ビクトリア観光岩見沢店様、ニューモード美容室 森下理恵 様
ダイナム岩見沢店様、フレーベル館様、岩見沢友の会様、
河内克彰様、中嶋 仁様、佐藤京一様、宿南信夫様、石川治夫様